

# 幸才マ通儂



# マ〜通信

私たちは  
あなたに光を観ようとし、真実を体験し、  
それを現そうとします

今回の表紙について：40億年前、地球にやって来たはじめての生命体マ〜5/20祝祭参加します♡ by NYaN (イスン)



5月20日に向けて…マ〜たちを具現化しておりました。



# 光を生きるあなたへ

光ンヤン

## 第6回 「パリパリ海苔の炭火焼きシャケおにぎりよりも美味しい世界」

ヲキンンヤン ありがとうございます。

脂の乗ったシャケを炭火で焼き、土鍋で炊いた温かいご飯でおむすびを握り、パリパリの海苔で巻いたら、そりゃもう、日本人でよかったと思うわけです。

みずみずしいイチゴを、程よい甘さのあんこで包み、さらに柔らかい餅でくるんだいちご大福を一口食べると、口の中いっぱいにはいちごの甘酸っぱさと、あんこの甘さと、餅の食感が広がって、とんでもなく幸せな気分になります。

人間は、こんな風に五感を楽しんでいるのですが、パリパリ海苔のシャケおにぎりを見て、ごっくんするのはこの味を知っている日本人ですよ。初めて見る外国の方には、真っ黒な紙みたいなもので巻いてあるこの食べ物はなんだ？となりますし、いちご大福にいたっては、丸くて白い物体ですから、もはやなんだかわかりません。

私たちの印象というのは、基本的に記憶によってもたらされています。

過去に一度でもシャケおにぎりを食べて、それを美味しいと思った記憶があれば、またそれを見たときに、あれはあの時に食べた美味しいシャケおにぎりだと思い出し、嬉しいとか喜びという感情が浮かび上がります。

私たちが普段持っている「印象」というのは、基本的にすべて過去の記憶に紐づいていて、それが原因となって現れます。

その印象は、私たちの心のエネルギーであり、それがあから、あれをしようとか、これはやめようと思い、行動になります。

嬉しい気持ちでシャケおにぎりを見る人は、またそれを食べようとし、それを見ても、何も印象が浮かばない人は、食べようとはしません。ただ見ているだけでしょう。

私たちは、創造の源です。  
創造の源として、この世界を創造します。

あなたはこの世界を何も味わずに、ただ見ている人でしょうか？  
あるいは、すでに味わったことのあるものを繰り返し味わう人でしょうか？  
それとも、まだ味わったことのない世界を創造しようとする人でしょうか？

私たちは、これまで誰も見たことがない世界を創造します。

誰も聞いたことがない、誰も食べたことがない、誰も触れたことがない、誰も嗅いだことがない、初めての世界を創造します。

それがこの地球上における絶対の7次元の世界です。

それはまだ、誰も味わったことがない世界です。それはきっと、今まで食べてきたどんな美味しいシャケおにぎりよりも味わい深く、今まで食べてきたどんないちご大福よりも、欣びに溢れた世界です。

私たちがしようとしていることは、そういうことなのだと思います。

ヲキンンヤン ありがとうございます



これ以上に美味しそうなのがあるのか???



5月20日に向けて…まだ誰も見たことのない世界だから、まだ誰も見たことのないセミがいるかも。

## 第6回 ナシニ(山崎 由美子)さんについて

ヲキンキツマ ありがとうございます。

今回は、ナシニ(山崎 由美子)さんについてお伝えいたします。



### 【K-PVT講師・K-PVT講師育成 担当】

ナシニさんからK-PVTを習われた方は多いのではないのでしょうか？初めてコトハの知識に触れる方に対しても、すでに共に活動をしている方々にも、純粋な知識を広めていらっしゃいます。

Q1. ナシニさんにとってK-PVTとは

A1.

自身の純粋な印象に基づき、ミコトを行い、マコトを成すきっかけになったもの。  
関わる人々が進化に向かう一番初めの入口にある大切な知識である。

Q2. ナシニさんにとってKIRとは

A2.

自身の進化成長のための修行の場ですよ（笑）。  
とにかく普通に働く職場ではなく、日々の活動の中で自身に向き合う機会がめちゃくちゃ多いので。進化を望む方には持ってこいの場でしょうね。

ナシニさんの原動力に、皆が引っ張られて物事が動き出す。ということが多くあります。  
また皆の活動を続けるためのベースを維持し続ける力もある、効力の強いお方です！

ヲキンキツマ ありがとうございます。



# 植物から自然知性を学ぶ

ツケオ

## 第6回 コトハ農法について

ヲキンツケオ ありがとうございます

現在、コトハ農法として行っていることは、作法としてあります。  
作法とは、心を込めることではなく、秩序として順を追った展開を行うことです。

コトハ農法について探究して創造している途中ですが、コトハ農法とは、みんなが創造の源として、自身の真実の開き、みんながそれぞれの原初の質を現し、具現化するものだと思います。つまり、コトハ農法とは、ひとりで行うことが出来ないもので、みんなで作る野菜や植物をコトハ農法と言えます。みんなの内側にある思いを外側に現したものが、野菜や植物として具現化されます。

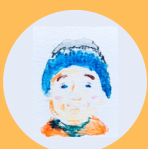
以前は、コトハ農法というのは、なにか形があるものだと考えていました。  
例えば、コトハ農法では肥料を使うのか使わないのか？稲作をするときには、どのような手順で行うのが、コトハ農法なのか？ などなど考えてきました。  
でも最近は、そのようなことを考えることはなくなりました。  
これはやって良い、これはやってはいけないというマニュアルを作ることは、過去に囚われていることではないでしょうか。

他者の進化のために純粋な作物を作ること達成として、みんなが真実を開き、原初の光の質を現し具現化すること自体が、コトハ農法だと気づきました。

真実を開き、自身の原初の光の質を現すことは、精神論ではなく、テクニックとして、コトハ農法では確立されています。コトハ農法では、農業を作法として実習プログラムを行いながら、すべての活動をしています。例えば、稲を刈るとき、稲を干すとき、などなど、すべての工程に対応して実習プログラムがあります。

農業の活動をしながら頭の中で実習を行うので、他の余計なことを考えないで活動をします。  
そのときに、もっとも自身の真実を開き、原初の光の質を現す状態になっています。そして、それを続けることで、農業以外の日常生活でも、身の真実を開き、原初の光の質を現すことが、自然になっていると感じます。

ヲキンツケオ ありがとうございます。



5月20日に向けて…達成を受け取るように準備をする。



## 第6回 大三島の純粋な水

ヲキンワナム

ありがとうございます

大三島には休日も問わず、サイクリストや観光客が多く集まり賑わっています。  
先日のゴールデンウィークでは島ではなかなか見れない渋滞が発生していました。

前回は大三島の水について書きました。

現在、ルートラーナ創造活動グループでは5月20日の祝祭に向けて、私たちは湧き上がる純粋な水によって日本各地のチームとつながり、日本に7次元の目覚めをもたらし、7次元の階層構造を具現化することを達成として活動をしています。

各チームは達成の証を観て、純粋な水を創造することを行なっています。

大三島チームでも、メンバーが観た達成の証をもとに大三島で純粋な水を創造する視察を重ねてきました。

前回の投稿でも書きましたが大山祇神社の後方の山にはいくつか水源があります。

最初はバラバラだった達成の証が視察を重ねていくうちに、皆の達成の証で観た風景、水の様子、水にたどり着くまでの過程の風景などが、つながっていき確信となって純粋な水の場所が特定され、創造されていきました。

純粋な水が創造されるまでの過程において、私たちは創造の源であるという体験をしていたのだと思います。

そして、今回の祝祭において私たちは創造の源として、日本に7次元の目覚めをもたらし、7次元の階層構造を具現化します。



ヲキンワナム

ありがとうございます



5月20日に向けて…つながることを意図します

## 第6回 匠

ヲキンヤリノ ありがとうございます。

先日、チケカフェのミニミニブロック看板を作りました。

キツマさんが下書きしてくださったロゴが可愛くて、ノコギリで切ったのです。なんでも作れてしまうイスンさんにノコギリの使い方を教えていただきました。

<イスンさんの教え>

1. 切りたいラインに鉛筆で直線を引く
2. カッターでラインを何度かなぞる
3. 角の部分を特にしっかりと切り込みを入れる
4. 線と切り込みを一周させる
5. ノコギリを体の正面にもち、まっすぐ切り進む

ヤリノが一番印象的だったのがノコギリの動かし方です。

「角度はできるだけ浅く、力を入れずに繰り返して引く」

頑張らずに淡々と静かに行っていると、いつの間にかブロックは切り落とされていました。（イスンさんナイスキャッチ！）それは長いような短いような、静寂のある時間でした。

これを読んでくださっている方の中にはまだTCM基礎編未受講の方もおられると思いますので内容には触れられませんが、これって4次元における時間の経験の導き出し方と関係があると思いませんか？

ノコギリの匠って時間を創造しているのかもしれない。

ヲキンヤリノ ありがとうございます。





## 第6回 すべての人の心と体の内側には光がある

ヲキンワトホ  
ありがとうございます。

毎日2回のK-PVTの実習を規則的に行うことが、非常に重要です。

習慣的な普遍意識とその響きの体験が、こころを静寂と至福で満たします。

それにより自我や理知が安定し、神経系の機能が正常化し、五感の働きが鋭敏化します。自身の意思をはっきり自覚し、欣びをもって実現していけるようになります。

その日のストレスの浄化につながり、深く良質な睡眠をもたらします。

ヲキンワトホ  
ありがとうございます。



## 第6回 時間旅行

ヲキンナエン ありがとうございます

キオマ食堂で感じるこのひとつに、『時間の伸び縮み』があります。  
キオマ食堂は、お昼時間の食事の場と、限定日時にはチケカフェとなる、という面を持ちます。  
もちろんそれだけに限った空間ではありませんが、ナエンが居合わせるキオマ食堂では、そのようにふたつの展開があります。  
共通して静寂があるのですが、面白いことに、それぞれの時間の経過の感覚にも違いがあります。

一瞬どこで、何をしているのかフツとわからなくなる  
あれっ？今時間の感覚がなかった、と、あとから気づく  
思った以上に時間の経過が遅いなと感じる  
まだこんな時間、じゃあもう一品作っちゃおうか…となったりする  
ゆっくりゆったり流れているような感じがしていながら、スムーズに進んでいる  
おぼろげな記憶と共に、今は現在でこれが現実だ、と錯覚しそうになる  
すごくたくさんのごことをしてきたのに、まだ時間がたっぷり残っていてなんだか得した気分♡  
手は動かしているのに、音がなく時間が止まっているようだったりする  
なんにもないところにぽっかり存在しているように感じる  
これは間に合わないぞと内心慌ててギリギリな時もありますが、そんな時は動きのスピードでカバーしたりして凌いでおります  
一方。。  
もうこんな時間になってる！  
嘘みたいに時間の経過がやけに早すぎて衝撃  
リラックスしていて自然体、笑ってばかりいる気づいたことをすぐさま現わせる時間と環境と気持ちの余裕がある  
名残惜しいくらいあっという間に終わってしまう  
すらすら言葉が出てくる  
大きななにかに包まれている

きっとそのどちらも体験できることは、ナエンにとって得難く、とてもありがたいことなのだ  
キオマ食堂に居ることで、進化のチャンスを得ています  
一粒で二度美味しい∞  
キオマ食堂は、ナエンにとってそんな感覚。  
そんな場所。

ヲキンナエン ありがとうございます



5月20日に向けて…整えて迎え、達成を受けとります

## 第6回 その6

ヲキンチケエ  
ありがとうございます。

チケカフェとはどんなカフェでしょうか。

例えば、普通お店には「このロールケーキがおいしい、またあれが食べたい」とリピートされるようなものがあると思うのですが、チケカフェはその真逆で、誰の記憶にも残らないカフェを目指しています。光のカフェ。幻。何も残らず消える。結果、執着を生まない、のかな？

メニューに関して言えば、菓子は毎回違うものが出てくるし、ハーブティーは2度と同じものが出てこない。最近チャイをメニューに加えましたが、一定の味にすることができないとだめなんじゃないかどうしようじしていたのを、毎瞬間の創造、いかなる他者にも光を観ようとする意図を持って、自由にやってみよう作戦に転じて、ひとりひとり使うハーブを変えてお作りしよう決めると、自分の中の風通しがぐんと良くなったのがわかりました。そんな店普通ないやん。あの時のあれがまた食べたい、飲みたいとか言われても、わし知らんし。

チケカフェは、ただ欣びが広がっている場としてあり、時に「スナックちけえ」として機能し、究極菓子はあってもなくてもよく、ただ自身がそこに在る。で、誰の記憶にも残らない。自身の光の質というのはそのようなものなのかもしれず、この時空間は、訪れる方の創造によるものなのだろうなあと思っています。

続く。

ヲキンチケエ  
ありがとうございます。





# コトハを学び、ミコトを生きる

ワラン

## 第4回 内側から外側へ

ヲキンワラン ありがとうございます

皆さん、こんにちは。ワランです。  
今回は「コトハを学び、ミコトを生きる」の第4回です。

私たちは、普段、五感を通じて外側の事象を捉え、それに基づいてあれこれ判断したり、行動したりしています。その判断や行動は、心が抱く印象に依存しています。それは自分の過去の経験・記憶からくるものです。

常に外側に何らかの原因があり、それに対し特定の印象を抱き、それに基づいて判断・行動し、その結果を受け取り、またそれが印象として記憶に残ります。これを繰り返しています。自分とは切り離された外側の出来事に反応して生きています。

K-PVTは、自身の内側にある光を直接体験し、それを響きとして具象化するテクニックです。すべての人の内側にある光がその人の真実であり、それを直接体験し、現すためのテクニックがK-PVTです。

日々の規則的な実習でこれを繰り返していると、内側にある光が自身の真実（純粋な思い）であることを感じるようになり、日常においてそれを現して生きることができるようになっていきます。過去の経験や印象に基づいて生きるのではなく、内側にある純粋な思いを現していくということです。外側の出来事に振り回されることなく、常に内側に静寂を感じ、安定してシンプルに生きることができるようになっていきます。

私たちは、そのような自身の内側の光（純粋な思い）を現そうとする活動のことを「ミコト」と言っています。

ヲキンワラン ありがとうございます



5月20日に向けて…光の広がりを感じています

# ～5月20日の祝祭に向けて～ (ゲストのコラム・ナシニさん)

ヲキンナシニありがとうございます。

こんにちは、AAメンバー内効カステップ担当ナシニ（山崎由美子）です。

今回のテーマ「5月20日の祝祭の開催に向けて」何か皆さんに応援メッセージを・・・ということで、皆さんが今回の祝祭を無事終えて、大きな達成を受け取り、次の達成に向けて進む力をさらにアップできるようにエネルギーを込めて書かせていただきますね。

今回の祝祭では「日本に7次元の目覚めをもたらし、7次元の階層構造を具現化する」ことを達成とし、全員が、同じ意図を持ち、6か所に分かれて行きますね。もう、凄い祝祭ですよ!!これによって、日本全体が7次元に目覚めるんですから。ついにここまで来たのかと感慨深さを感じます。

今では、皆さんが毎月普通に参加している「祝祭」ですが、思い返すと、数年前までは進化の学びを始めていたわずか10名くらいの仲間と共に、毎年日本のあちこちに行っては、祝祭を行っていたものです。その頃から祝祭場所探し、どのように執り行うか・・・、時間も夜中だろうが、早朝だろうが、寒だろうが、暑だろうが、みんなで集まり、祝祭をして参りました。

その時には、何でこんなことをしているのか・・・と訳もわからず、ただただ、祝祭に参加・・・こうしたことを繰り返してきたのですが、あの頃からンヤン先生のお考えは一貫して変わらず、日本中に光を広げ、絶対の光の8次元以上の階層構造を構築することを意図し、ここまで私たちを導いて下さいました。

以前は仲間と言っても、クリニックやKIRの職員のごくわずかのメンバーだけで行っていたものが、この5月20日は自宅参加者を含めて本当に沢山の仲間がメンバーとなり自らが創造の源となって、この祝祭を創造しようとして既に様々な活動を進めてきました。何度もチームメンバー同士で集まり、打ち合わせも重ねてきました。このキオマ通信が発刊される頃には、皆さんで大きな素晴らしい達成を受け取っていることと思います（それしか創造しないと決めちゃってます!!）

日本に絶対の光の世界が具現化されるのもそう遠くないところまで来ました。引き続き皆で同じ意図を持ち、皆さんで全体性を具現化して行きましょう。私たちは、地球とともに喜びを生きるひとつですから。

ヲキンナシニ ありがとうございます。

※AAメンバー内で同じく効カステップを担当するアメノさんと、皆さんに創造のエネルギーをお送りするために、写真を添えておきますね。待ち受けにいただいても結構ですよ（笑）。



5月20日に向けて…目覚める

## 第6回 仕方ないので目の前の草を抜き続ける

ヲキンキリヲ  
ありがとうございます

本号、キオマ通信第6通目は、5月20日の祝祭の日に発行されます。

この祝祭は、祝祭応援隊のナシニさんからのご説明のとおり、わたしたちにとって、とても大きな祝祭となります。

キリヲは昔から、大きな祝祭の前は、とても不安定になる傾向がありますが、今回も2日ほど前から激しいストレス解消が起こりはじめました。

「もう戻ってこれないかも」という心境の中、今回は「そんな自分にもできそうなことを全力でやる」という作戦で乗り切ることになりました。

主には、食堂でまかないを作ったり、このキオマ通信の原稿をとりまとめたり、やっていることは普段とあまり変わりませんが、「今これをやめたら落ちる」といった危機感の中、必死で取り組んでいたところ、昨晚から「もう大丈夫だ」という確信がわいてきて、現在は軽やかな気持ちで、祝祭に向け、ただただワクワクしております。

戻ってこれた一番の要因は、仲間たちにミコトを進める姿を見せてもらえたことではないかと感じています。

直接的な関りはなくても、そのような姿を見せてもらうことで、明るさに包まれるという体験が何度もあり、それは「自身の光を現すことが、他者にとっての支援になる」ということがどのようなことかを学ばせていただいた出来事でした。その学びにより、「無邪気に光を現す」とはどのようなことなのか、これまでより少しだけ理解できた気もしています。

なにはともあれ、晴れやかなところで、皆さまのお手元にこのキオマ通信第6通目を送り出すことができてよかったです。

それでは、次回は約2週間後のハノアのメ、満月の日にお目にかかれますよう。

最後までお読みくださり、ありがとうございます。

2023年5月20日、ハノアのクの新月の日に。皆さま、よき創造の一日を。

ヲキンキリヲ  
ありがとうございます



5月20日に向けて…はたしてどんな世界になるのやら。帰宅後の夕飯は何作ろう。





**KoToHa** *Integral Research*